

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成30年9月26日(水) ランド・アクシス・タワー22階		
委員	角田 茂(学校法人参事) 篠原焜夫(弁護士) 中村好男(大学名誉教授) 栗田 誠(大学教授) 清水義彦(大学院教授)		
審査対象期間	平成30年4月1日～平成30年6月30日		
抽出案件	総件数	5 件	(備考)
工事	一般競争入札	1 件	
	公募型指名競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	1 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサールトン	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	0 件	
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0 件	
	標準プロポーザル	0 件	
	一般競争入札	1 件	
	通常指名競争入札	1 件	
	随意契約(競争性のある)	0 件	
	随意契約(特命随意契約)	0 件	
	補償契約	1 件	

1. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 一般競争入札(工事) 【利根導水路工事大規模地震対策 利根大閘調節3号ゲート設備外整備工事】

意見・質問	回答
・企業の施工能力の評価のうち、どういふものを同種工事というのか。	・同種工事は、シェル構造ローラーゲートというゲート形式を定めていて、その製作・据付、更新を同種工事としています。採点については、2段式シェル構造ローラーゲートの製作・据付を行ったものが5点、シェル構造ローラーゲートの製作・据付を行ったものが4点とし、更新については同種工事の実績としては認めますが0点というように点数の基準を定めています。
・シェル構造ローラーゲートの施工実績を持っている会社は結構いるのか。	・規模が小さいものを含めると、かなりの数の者ができていると思いますが、実際に運用中のゲートであるため、施工の難易度が高く、規模が小さい会社には難しいかもしれません。
・利根大堰が設置されたときの施工業者は落札者と同じか。	・落札者とは違う会社です。
・先ほどの同種工事の実績で4点と0点という評価があったが、0点という評価の方法がいいのか。	・実績としては認めますが、更新だけでは点数を与えるほどではないということで0点としています。
・企業の施工能力の評価に「VE提案及び技術提案の採用実績の有無」があり、	・3%というのはVE提案についてのものです。3%以上のコスト削減の提案実績があれば5点を与え

3%以上と3%未満の実績提案と記載されているが、これはどのように理解するのか。	ますが、技術提案のみの場合は3%未満ということになり3点を与えます。
・技術提案に基づく施工計画のうち、施工上配慮すべき事項として5項目が示してあり、この中に水質事故の防止対策という項目があるが、これは具体的にどうということが問題になるということで、この項目を入れたのか。	・この項目は、申請者の提案が散乱しないように、河川内の工事となりますので、色々な工夫をしてほしいということで、このようなテーマを示しているということです。

(2) 指名競争入札 (工事)

【馬越支線石綿管撤去工事】

意見・質問	回答
・指名業者の選定において、22社を11社ずつの2つのグループに分割した理由はなにか。	・22社全てを指名することも可能ですが、事務処理の軽減も考えて分割しています。指名競争の場合、一般的には概ね10社程度を指名しており、今回グルーピングして、第1グループの11社を指名したということです。過去に数十社を指名した事例もありますが、そういう案件はなかなか手が挙がらない案件となります。
・22社を全て指名すればよいと考えるが、事務の複雑さはそんなに違うのか。また、グルーピングはどのように行い、今回このグループを選定した理由は何か。	・グルーピングを行った理由は、ひとつは事務手続きに関すること、2つめは本工事以外にも先発工事や後発工事がありますので、それらもあわせてグループ化し、それぞれに受注機会を増やすという意味を含めてグルーピングを行っています。グループ分けは、名簿の順番に交互に選んでいます。
・指名競争の場合、10社以上を指名するということが、恐らくこれは指名すれば全社が必ず入札に参加するという前提のものではないか。現在は、指名を受けても参加しない時代になっており、見直してみる余地はあるのではないか。	・10社の基準は国も同様で、これまでも辞退することはできますので、現行も全く変わっていません。ただ、当時は指名競争が多く、お付き合いで入札に参加してくれる業者もあったであろうと思いますが、最近は最初から辞退する社が多くなったということです。

(3) 一般競争入札 (建設コンサルタント等)

【コンクリートダム解析等現場技術業務】

意見・質問	回答
・特殊な業務ではない、コンクリートダムの標準的な解析業務なのに、なぜ1者しか参加していないのか。	・我々もそう思っていますが、基本的に汎用プログラムを使ってデータ入力して計算をするということを行っていますので、そういった専門知識を勉強することが大変ということで遠慮されているのではないかと考えています。また、現場技術業務として、このようなプログラムの入力をして解析をするという業務は、当機構では総合技術センターだけだと思います。
・毎年度1者しか参加しないのか。	・事実としてはそうです。コンクリートダムの耐震解析や温度応力解析などを総合技術センターにおい

	て解析していただくこととなりますので、技術者を確保して1年間取り組まなければならないということとなります。
・例えば複数年の発注として、いい技術者を派遣してもらい、優れた分析結果が出るような、受注者としてもノウハウが蓄積できるような、双方にとってメリットのあるような発注方式とするために、何か工夫が必要と思う。	・1者応札が続いているということは、何らかのことをしないと質の低下にもつながりますし、色々なことを考えていかななくてはいけないと思っています。その努力は当然していきたいと思いますが、なかなか結果が現れていません。

(4) 指名競争入札（建設コンサルタント等）

【青蓮寺・比奈知ダム流量他観測業務】

意見・質問	回答
・ダム堤体観測と流量観測、しかも複数ダムを行うとなると、対応できるのは地元のコソナル業者になると思うが、人的資源の面からなかなか難しいのではないか。山奥という地理的なものもある。この手の業務は必ずやらなければならない業務ではあるが、参加業者が少ないのではと思うが、過去の実情はどうなっているか。	・ここ数年では、名張市や伊賀市から複数者の応札がありました。ただし、もう少し長い期間で見ると2～4社程度の参加であったことが多いです。我々としては応札者を増やしていきたいですし、地元業者に実績を積んでいただきたいという思いがあります。
・入札参加者を増やすという意図が目的に反して1者応札になった状況であるが、規模を大きくして魅力的にするということも一つの方法かもしれないが、逆に複数業務を組み合わせることによって参加が難しくなることもあるかもしれない。このあたりはどのような発注方法が望ましいかを更に検討する必要があると思う。	・ご指摘のことは我々も懸念していますので、今後も検討していきたいと思っています。

(5) 補償契約

【ガス工作物撤去補償】

意見・質問	回答
・今回の補償は、ガス工作物の埋設している場所が市所有地なので、市に依頼して移設するというものなのか。	・ガス管を市が保有して管理しています。土地は県有地や民地であったりするので、そこを占有してガス管を埋設しているという状況です。

2. 委員会による意見の具申又は勧告

なし

3. 問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長 田村 三明 (内線 2251)

技術管理室担当課長 足達 謙二 (内線 4631)

用地管財部用地補償課長 長尾 和彦 (内線 2321)